

環境への取組みと 社会との共生

神戸製鋼グループは『環境経営基本方針』を策定し、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

■環境経営基本方針

『グループ環境経営の実践による企業価値向上』

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループを目指して

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協調

を実践することにより、社会的責任を果たすとともに、企業価値を高める。

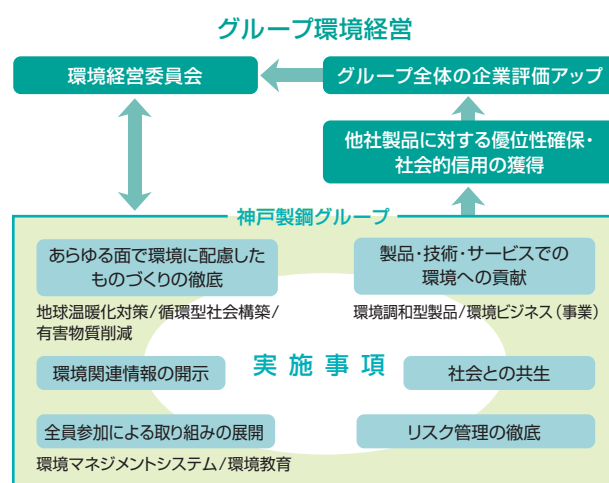
■実施事項

グループ環境経営を推進していくため、2006年度から2008年度の中期環境経営計画を策定し、現在、6つの実施事項「あらゆる面で環境に配慮したものづくりの徹底」、「製品・技術・サービスでの環境への貢献」、「環境関連情報の開示」、「社会との共生・協調」、「全員参加による取り組みの展開」、「リスク管理の徹底」について展開しています。

これらの活動については、「神戸製鋼グループ 環境・社会報告書」などで開示し、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションに努めています。



神戸製鋼グループ
環境・社会報告書2008



■スクリュ式小型蒸気発電機「M.S.E.G.」が日本産業技術大賞の内閣総理大臣賞を受賞

このたび(株)神戸製鋼所、神鋼商事(株)、神鋼造機(株)、(株)ティエルプイがスクリュ式小型蒸気発電機「M.S.E.G.」で、その高い省エネ性能を評価され、日本産業技術大賞の内閣総理大臣賞を受賞しました。「M.S.E.G.」は、ボイラから大気放出され有効利用されていない余剰蒸気や、さまざまな生産プロセスで無駄に消費されていた、減圧時の蒸気エネルギーを有効に活用するもので、多くの中小規模の工場などへの適用が期待されています。



日本産業技術大賞の内閣総理大臣賞を受賞する水越会長(2008年4月)

社会貢献への取組み

体感型学習施設「灘浜サイエンススクエア」

「灘浜サイエンススクエア」は、製鉄・発電・エネルギー・環境をテーマに、科学や技術の面白さや不思議さを遊びながら学ぶ体感型学習施設です。小中学生の校外学習や地域の皆様の交流の場として人気が高く、2004年4月に開館以来、23万人を超える来館者をお迎えしています。科学実験の実演や、自然に親しみ、環境を大切にす気持ちを作る「自然教室」、その他「工作教室」などのイベントも開催しています。

2008年4月に、当施設が小中学生への環境・エネルギー学習に貢献していること、地域や社会との環境コミュニケーション構築に寄与していることなどが高く評価され、第17回「地球環境大賞」の文部科学大臣賞を受賞しました。



ホームページ <http://www.nadahama.jp>
開館：9:30～16:30（入館は16:00まで）
休館日：月曜日（祝日の場合翌平日）、年末年始
入館料：無料
住所：神戸市灘区灘浜東町2番地
TEL：078（882）8136

ラグビーを通じての活動

特定非営利活動法人 「日本せきずい基金」への募金

2001年度より試合会場にて、特定非営利活動法人「日本せきずい基金」への募金活動を行なっています。2007年10月24日には、2006-2007年度シーズンに集まった寄付金を東京都障害者福祉会館にて贈呈いたしました。

Kobe Green Movement 2008 兵庫県県民まちなみ緑化事業に参加

2008年2月21日、Kobe Green Movement 2008 兵庫県県民まちなみ緑化事業にコベルコスティーラーズの選手が参加いたしました。このイベントは、植林により緑を増やすことで地球環境改善活動を行ない、同時に子供達に国際健全教育の一環として、木にふれあいながら自然の大切さや思いやりを勉強するというイベントです。

新潟県にて児童養護施設を訪問

2007年11月18日に開催されましたトップリーグ第4節の翌日に、児童養護施設（2施設）にコベルコスティーラーズの選手が訪問いたしました。子供達は、普段見ることのない大きな選手達に最初は驚いていましたが、ラグビーボールを使って遊んだりすることで、楽しい時間を過ごすことができました。

ラグビーの普及活動

ラグビー普及活動の一環として、コベルコスティーラーズの選手が小中高生を対象に多数のラグビースクールを訪問し、指導いたしました。

また、ラグビー体験教室を通じて、未経験者の親子にもラグビーの楽しさを体験していただきました。

その他「全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会」を北海道夕張市にて開催するなど、ラグビーの普及活動を行なっています。